



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月8日

上場会社名 三洋工業株式会社
 コード番号 5958 URL <http://www.sanyo-industries.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 菊地 政義
 (氏名) 園田 崇之

TEL 03-5611-3451

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	17,082	△10.0	636	△20.9	815	△12.9	517	△7.3
2020年3月期第3四半期	18,976	4.0	805	512.0	937	274.1	558	271.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 592百万円 (△0.7%) 2020年3月期第3四半期 596百万円 (798.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	152.50	—
2020年3月期第3四半期	164.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	24,856	15,851	63.8	4,673.68
2020年3月期	25,864	15,480	59.9	4,564.07

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 15,851百万円 2020年3月期 15,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2021年3月期	—	30.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△9.6	800	△49.7	900	△49.0	650	△45.0	191.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、(添付資料)8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	3,520,000 株	2020年3月期	3,520,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	128,275 株	2020年3月期	128,246 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	3,391,732 株	2020年3月期3Q	3,391,822 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月～2020年12月)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動が大幅に制限され景気が急速に悪化しましたが、緊急事態宣言解除後は、感染症拡大防止と経済活動の両立を図る動きが広がり一部に改善の兆しが見られました。しかしながら、第3波の感染再拡大を受け、2021年1月に緊急事態宣言が再度発令されるなど、景気の先行きは依然として予断を許さない不透明な状況が続いております。

当社グループの関連する建築業界におきましては、持家や貸家の減少に伴う新設住宅着工戸数の落ち込みに加え、非住宅関連においてもコロナ禍による経済活動の自粛を背景に工場や店舗等の着工が減少するなど、建築需要は引き続き厳しい状況で推移しております。

こうした経営環境の中で当社グループは、社員の健康と安全を最優先に、コロナ感染防止策の徹底を図るとともに、時差出勤やサテライトオフィスでの勤務及び一部在宅勤務といった柔軟な労働環境の実現に努めてまいりました。また、建築需要が低迷する中、2年目を迎えた中期3ヵ年経営計画「SANYO VISION 73」の達成を目指し、基本経営戦略に沿った諸施策への積極的な取組みと、コストダウンによる利益率の改善及び販管費の削減に全力を傾注してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響もあり、全体の売上高は17,082百万円(前年同期比10.0%減)となりました。また、利益面におきましては、営業利益636百万円(前年同期比20.9%減)、経常利益においては815百万円(前年同期比12.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は517百万円(前年同期比7.3%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 三洋工業

主力製品群である軽量壁天井下地につきましては、地震対策用天井が概ね堅調に推移したものの、建築需要の落ち込みを背景に、戸建住宅用製品や商業施設用の一般製品の受注量が低迷したことなどから、軽量壁天井下地全体の売上高は減少となりました。

また、床システムにつきましては、再生木材を利用したデッキフロアやスチール製OAフロアが伸長しましたが、主力製品である学校体育館などスポーツ施設用の鋼製床下地材製品や集合住宅用の遮音二重床製品が伸び悩んだことなどから、床システム全体の売上高は横ばいとなりました。

アルミ建材につきましては、ルーバーが堅調に推移しましたが、アルミ笠木やエキスパンション・ジョイントカバーといった主力製品をはじめ、手摺や外装パネル等も低調であったことなどから、アルミ建材全体の売上高は減少となりました。

この結果、売上高は14,293百万円(前年同期比8.1%減)、セグメント利益は557百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

② システム子会社

当社の子会社であるシステム会社（株式会社三洋工業九州システムほか）におきましては、鋼製床下地材製品やその他床関連製品を中心に設計指定活動に注力してまいりましたが、コロナの感染拡大で工事の遅延や中止があったことなどから、システム会社全体の売上高は3,294百万円（前年同期比18.2%減）、セグメント損失は87百万円（前年同期セグメント利益25百万円）となりました。

③ その他

その他につきましては、売上高527百万円（前年同期比8.5%減）、セグメント利益は14百万円（前年同期比71.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、主に受取手形及び売掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,007百万円減少し、24,856百万円となりました。

負債につきましては、主に支払手形及び買掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,379百万円減少し、9,005百万円となりました。

純資産は、配当金の支出があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益517百万円を計上したことにより、前連結会計年度末に比べ371百万円増加し、純資産合計は15,851百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期（2020年4月1日から2021年3月31日）の連結業績予想につきましては、2020年5月12日発表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,804	5,041
受取手形及び売掛金	9,427	6,939
商品及び製品	2,298	3,508
仕掛品	145	131
原材料及び貯蔵品	594	646
その他	63	110
貸倒引当金	△52	△52
流動資産合計	17,279	16,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,814	2,720
機械装置及び運搬具（純額）	563	522
土地	2,876	2,876
その他（純額）	267	243
有形固定資産合計	6,522	6,362
無形固定資産		
ソフトウェア	224	118
その他	25	25
無形固定資産合計	250	144
投資その他の資産		
投資有価証券	478	570
繰延税金資産	108	118
退職給付に係る資産	36	116
賃貸不動産（純額）	1,000	980
その他	204	255
貸倒引当金	△17	△16
投資その他の資産合計	1,811	2,024
固定資産合計	8,584	8,530
資産合計	25,864	24,856

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,784	5,938
短期借入金	874	870
未払法人税等	474	141
賞与引当金	430	137
役員賞与引当金	25	19
その他	1,346	1,429
流動負債合計	9,936	8,535
固定負債		
長期借入金	2	-
繰延税金負債	3	5
退職給付に係る負債	40	40
その他	400	422
固定負債合計	447	469
負債合計	10,384	9,005
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,168
利益剰余金	12,739	13,036
自己株式	△291	△291
株主資本合計	15,376	15,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153	219
退職給付に係る調整累計額	△50	△40
その他の包括利益累計額合計	103	178
純資産合計	15,480	15,851
負債純資産合計	25,864	24,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	18,976	17,082
売上原価	13,613	12,183
売上総利益	5,362	4,898
販売費及び一般管理費	4,557	4,261
営業利益	805	636
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	19
受取賃貸料	119	157
売電収入	33	30
その他	38	36
営業外収益合計	211	244
営業外費用		
支払利息	2	1
不動産賃貸費用	58	48
売電費用	17	15
その他	0	0
営業外費用合計	79	65
経常利益	937	815
特別利益		
投資有価証券売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除却損	11	0
投資有価証券評価損	15	-
災害による損失	20	-
特別損失合計	48	0
税金等調整前四半期純利益	888	815
法人税等	330	298
四半期純利益	558	517
親会社株主に帰属する四半期純利益	558	517

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	558	517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	65
退職給付に係る調整額	△1	9
その他の包括利益合計	38	74
四半期包括利益	596	592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	596	592
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて記載しております。